



ぼくは、あの日、あの時の事を
わすれられない、わすれない
(6年男子)

長篇ドキュメンタリー映画
東日本大震災を記憶する証言集・学校篇

3月11日を生きて

～石巻・門脇小・人びと・ことば～



【石巻特別上映会】

全国的な公開に先駆けての上映会です。入場無料

○3月7日(水) 8日(木)

石巻市中央公民館 (旧市役所の向かい)

14:00 開場 3階 第1講座室

14:30 上映

○3月10日(土)

かめ七呉服店 (アイトピア通り)

17:45 開場

18:00 上映

【解説】

東日本大震災で石巻市の小学校は、被災14校、死亡・行方不明の児童186人という大きな被害を受けました。かつて体験したことのない大地の揺れと迫りくる大津波。

そのとき、学校現場は事態をどのように把握し、判断し、行動したのか。

こどもたちは、教職員は、保護者家族は、3月11日をどのように生きたのか？

石巻市立門脇小学校の、3月11日<そのとき>から12日朝までを、50人を超えるインタビューで追跡します。

製作 映画『宮城からの報告』製作委員会

代表：阿部和夫 事務局長：佐藤進 編集：村本勝 撮影：一之瀬正史 録音：滝澤修 音楽：森拓治

語り：三國裕子 監督助手：尾崎日出夫 監督：青池憲司